5. ダビング

ダビングには3通りの手段があります。

1）CD-ROMドライブからMDレコーダー
2）CD-ROMドライブからハードディスク
3）ハードディスクからMDレコーダー

お使いのパソコンに、ある一定時間が経つと自動的に起動する機能（例：スクリーンセーバーや省電力機能など）が設定されている場合、それらの機能が起動してダビングが正常に行なわれない場合があります。
ダビングを行なう時は、このような機能はすべてオフにしてください。
各機能の設定／設定解除方法は、お使いのパソコンのマニュアル、Windowsのマニュアルを参照してください。

（1）CD-ROM ドライブから MD レコーダー

注意！録音する前に

- Windowsの[サウンドのプロパティ]でWindows上での操作に対してサウンドの設定がされていると、録音中にそのWAVEファイルが鳴ってしまってその音もMDレコーダーに録音されることがあります。録音する前に、Windowsの[ボリュームコントロールパネル]でWAVEの[全ミュート]チェックボックスをオンにしてください。
- MDの誤消去防止つまみが開いているディスクでは録音はできません。つまみをもとに戻してください。
- メイン画面で停止モードの状態のとき、この機能が使用可能です（MD編集画面では使えません）。
- MDレコーダー付属の録音用アナログケーブルでパソコン（OUTPUT）とMDレコーダー(INPUT)を接続し、MDレコーダーのMIC/LINE切り替えスイッチを“ LINE ”にして一度ためしに録音してください。録音レベルが低ければMIC/LINE切り替えスイッチを“ MIC ”にしてください。

1．[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面の表示

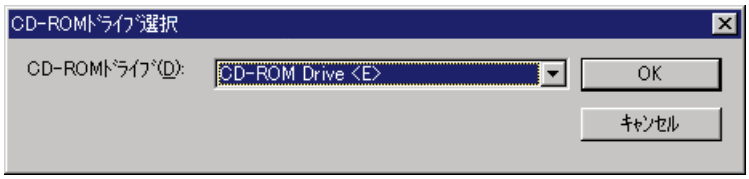
まず、音楽CDをCD-ROMドライブに挿入します。
CDを挿入するとCDプレイヤーが起動するときがあります。そのときはCDプレイヤーを終了してください。
次に、メニューバーから[操作]－[ダビング]を選択し、サブメニューの［CD-ROMドライブからMDレコーダー］を指定します。[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面が表示され、CDトラックリストにはトラック番号と曲再生の時間が表示されます。

注意！

- 何らかのアプリケーションがCD-ROMドライブを使用中の場合は、[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面は表示できません。
- CD-ROMドライブからCDを取り出すとリストはクリアし、CDを入れるとリストを表示します。
- CDプレーヤーが起動したときはCDプレーヤーを終了してもCDトラックリストにトラック番号と曲再生の時間が表示されないことがあります。　このような時には[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面を一度閉じて、再度開いてください。

2．CD-ROMドライブの変更

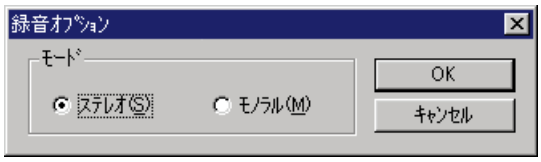
[CD] ボタン CD をクリックすると、[CD-ROMドライブ選択]ダイアログを表示します。



ドロップダウンリストを表示させてCD-ROMドライブの変更が行なえます。

3．録音オプションの設定

録音モードを変えるには[MD]ボタン MD をクリックします。 [録音オプション]ダイアログが表示され、ステレオ／モノラルが切り替わります。



4．CDトラックの試聴

試聴したいCDトラックを選択して[再生]ボタン をクリックすると、選択されたトラックが再生します。

再生を停止するには[停止]ボタン をクリックします。

MDレコーダーからの音量は、[CD-ROMドライブからMDレコーダー]画面内の をクリックするかスライダーで調整します。

5．MDトラックリストへの追加

CDトラックリストから、録音したいトラックを選択します。

をクリックするか、MDトラックリストへドラッグすると、MDトラックリストに追加します。

・ MDトラックリストに録音対象のトラックを追加したとき、MDの録音残時間内かどうか自動チェックします。
・ MDの録音モードを切り替えたときは録音残時間内かどうか自動チェックします。
・ 録音中にトラック情報バーに表示されるトラック番号は、MDに記録されるトラック番号です。

6．MDトラックリストの削除

削除したいトラックを選択して をクリックします。

CD-ROMドライブからCDを取り出したときは、MDトラックリストは全て削除します。

7．MDトラックのネーム編集

MDトラックリストに表示されたトラックのネーム部分をクリックし、もう一度クリックすると、テキスト入力可能状態になります。最大100文字の半角英数文字でネームを入力できます。

入力時にトラックネームとして入力できる文字の種類についてはMDGシリーズの取扱説明書をお読みください。

8．録音順番の変更

録音の順番を替えるには、MDトラックリストで移動したいトラックを選択し、 、 、 、 をクリックして替えます。

９．録音と録音キャンセル

録音 をクリックすると録音が開始されます。

録音中に再生されるＭＤレコーダーからの音量は、[ＣＤ-ＲＯＭドライブからＭＤレコーダー]画面内の をクリックするか、スライダーで調整できます。　（※録音レベルとは関係ありません。）

［停止］[キャンセル]ボタンをクリックしたときは録音を中止し、メイン画面に戻ります。

１０．録音終了またはキャンセル

録音が終了すると、メイン画面に戻ります。メイン画面に戻ったら、表示内容を更新します。

メイン画面に戻る前にMDを取り出すと、何も表示されません。

（２）CD-ROM ドライブからハードディスク

＝＜おことわり：この機能は、サポート対象外です＞＝

この機能に関するお問い合わせには対応できませんので、あらかじめご了承ください。

MD Disc Masterでは、CD-ROMドライブをコントロールしてデジタル信号をサウンドファイルに変換して、ハードディスクに保存します。（音楽CDをサウンドファイル〈WAVEファイル〉に変換する機能を持っています。）しかし、CD-ROMドライブ自体がデジタル信号をサウンドに変換する機能をもっていない場合や、CD-ROMドライブ自体がこの機能を有していても、MD Disc Master から制御できないこともあります。

また、本機能が使える環境をお持ちのお客様でもこの機能をご利用になる際には、CDライターやCD再生ソフトウェア など、CD-ROMドライブにアクセスするソフトウェアとの同時使用は行なわないでください。

動作に支障が起こった場合、パソコンを再起動していただくと、うまく動作する場合があります。

注意！

- メイン画面で停止モードの状態のとき、この機能が使用可能です（MD 編集画面では使えません）。
- ご使用の CD-ROM ドライブによっては、この機能が使用できないことがあります。
- お客さまのシステムによってはノイズがサウンドファイルに入ってしまうことがあります。

１．[CD-ROMドライブからハードディスク]画面の表示

まず、音楽CDをCD-ROMドライブに挿入します。

CDを挿入するとCDプレイヤーが起動するときがあります。そのときはCDプレイヤーを終了してください。

次に、メニューバーから[操作]－[ダビング]を選択し、サブメニューの［CD-ROMドライブからハードディスク］を指定します。[CD-ROMドライブからハードディスク]画面が表示され、CDトラックリストにはトラック番号と曲再生の時間を表示します。

注意！

- 何らかのアプリケーションがCD-ROMドライブを使用中の場合は、[CD-ROMドライブからハードディスク]画面は開きません。
- CD-ROMドライブからCDを取り出すと、リストはクリアされます。CDを入れるとリストを表示します。
- CDトラックをサウンドファイルにデジタル変換して保存します。

2．CD-ROMドライブの変更

[CD] ボタン CD をクリックすると、[CD-ROMドライブの選択]画面を表示します。
ドロップダウンリストを表示させてCD-ROMドライブを変更することができます。

3．CDトラックの試聴

試聴したいCDトラックリストのトラックを選択して[再生]ボタンをクリックすると、選択されたトラックを再生します。
再生を停止するには[停止]ボタンをクリックします。
MDレコーダーからの音量は、[CD-ROMドライブからハードディスク]画面内のをクリックするか、スライダーで調整できます。

4．HDトラックリストへの追加

CDトラックリストから、録音したいトラックを選択します。をクリックするか、HDトラックリストへドラッグすると、HDトラックリストにトラックを追加します。

5．HDトラックリストの削除

削除したいトラックを選択してをクリックします。

6．ファイル名の編集

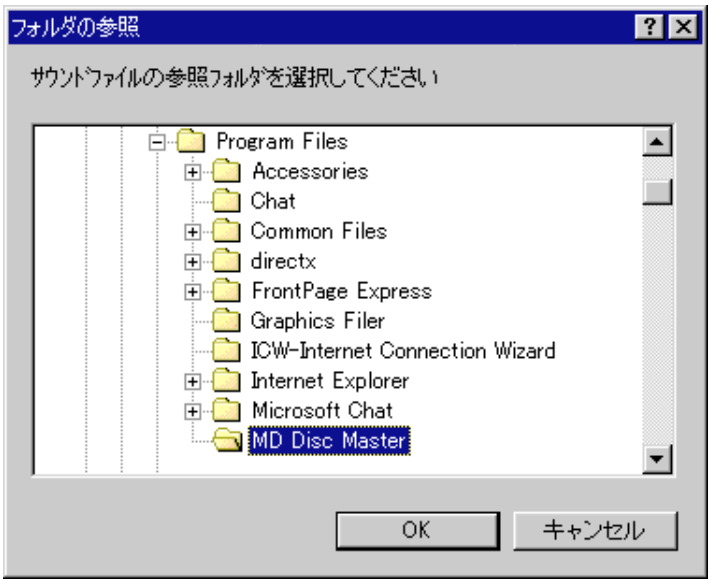
HDトラックリストに表示されたトラックのファイル名部分をクリックし、もう一度クリックすると、テキスト入力可能状態になります。

7．録音順番の変更

録音の順番を替えるには、MDトラックリストで移動したいトラックを選択し、、、、をクリックします。

8．ファイルの保存

CDトラックをサウンドファイルにデジタル変換して保存します。
保存先のフォルダのデフォルトは、本アプリケーションが存在するフォルダです。
また、HDトラックリスト上部にある HD をクリックすると、[フォルダの参照]ダイアログが表示されるので、ここで保存先フォルダを指定することもできます。

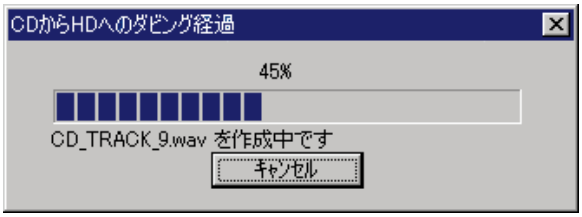


保存先としてハードディスク以外のメディアも選択できますが、アクセススピードが速く、空き容量の大きいメディアを保存先に指定してください。

参考： 5分の曲をサウンドファイルに変換すると、約52MBのファイルが作成されます。
音楽CD全体をサウンドファイルに変換すると最大約810MBのファイルが作成されます。

９．録音と録音のキャンセル

録音 をクリックすると録音（サウンドファイルの作成）が開始され、録音経過を表示する画面を表示します。（音声は再生されません）



この画面で[キャンセル]ボタンをクリックすると録音作業はキャンセルされ、メイン画面に戻ります。
保存先のフォルダに同名のファイルが存在する場合は［上書きしますか］と問い合わせメッセージが表示されます。［いいえ］を選択すると録音をキャンセルします。
また、サウンドファイル作成時にエラーが発生した場合は、録音作業はキャンセルされます。

１０．録音終了

録音が終了するとメイン画面に戻ります。

（３）ハードディスクから MD レコーダー

注意！録音する前に

- MDの誤消去防止つまみが開いていると録音はできません。つまみをもとに戻してください。
- メイン画面で停止モード状態のとき、この機能が使用可能です（MD編集画面では使えません）。
- MDレコーダー付属の録音用アナログケーブルでパソコン（OUTPUT）とMDレコーダー(INPUT)を接続し、MDレコーダーのMIC/LINE切り替えスイッチを“ LINE ”にして一度録音してください。録音レベルが低ければMIC/LINE切り替えスイッチを“ MIC ”にしてください。

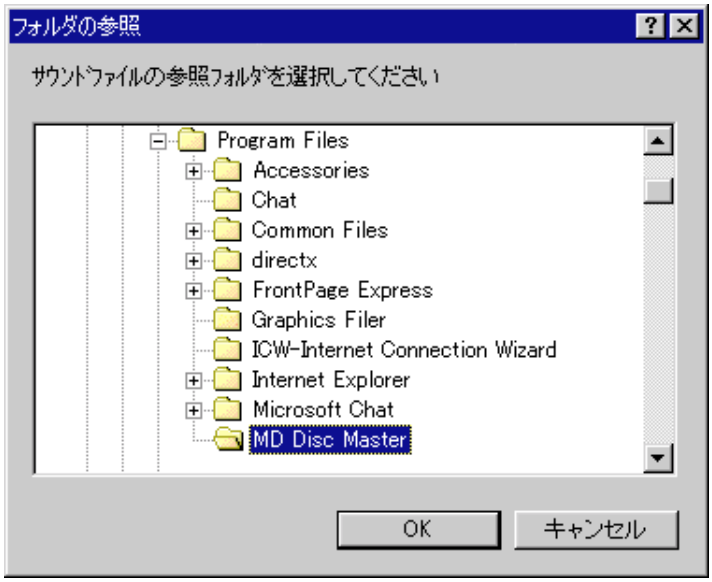
1．[ハードディスクからMDレコーダー]画面の表示

メニューバーから[操作]－[ダビング]を選択し、サブメニューから[ハードディスクからMDレコーダー]を指定します。[ハードディスクからMDレコーダー]画面を表示します。

このときHDファイルリストには本アプリケーションが存在するフォルダか、最後にこの操作を行なったときに使用したフォルダが表示されます。

2．フォルダの変更

[HD]ボタン をクリックすると、[フォルダの参照]ダイアログが表示され、録音もとのフォルダの指定をします。

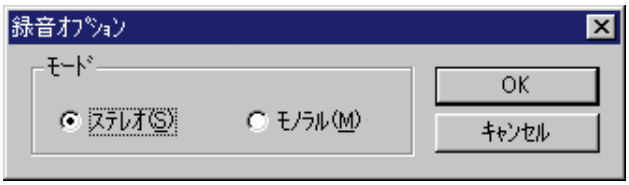


ここで異なるフォルダを選択するとHDリストを再表示します。

HDファイルリストにはトラック情報（No.、ファイル名、時間）が表示されます。

3．録音モードの設定

録音モードを変えるには[MD]ボタン MD をクリックします。 [録音オプション]ダイアログが表示され、ステレオ／モノラルを切り替えることができます。



4．ファイルの試聴

HDファイルリストのファイルを選択して をクリックすると、選択されたファイルが再生されます。再生を停止するには をクリックします。

MDレコーダーの音量は、[ハードディスクからMDレコーダー]画面内の をクリックするか、スライダーで調整します。

5．MDトラックリストへの追加

HDファイルリストから、録音したいファイルを選択します。

をクリックするか、MDトラックリストへドラッグすると、MDトラックリストに追加します。

表示されるトラック名は既に登録しているファイル名ですが、MDレコーダーで使用できない文字等はスキップして表示します。

・ MDトラックリストに録音対象のファイルを追加したとき、MDの録音残時間内かどうか自動チェックします。
・ MDの録音モードを切り替えたときは録音残時間内かどうか自動チェックします。
・ 録音中にトラック情報バーに表示されるトラック番号は、MDに記録されるトラック番号です。

6．MDトラックリストからの削除

ファイルを削除したいMDトラックリストのトラックを選択して をクリックします。

7．MDトラックリストネーム編集

MDトラックリストに表示されたトラックのネーム部分をクリックし、もう一度クリックすると、テキスト入力可能状態になります。最大100文字の半角英数文字でタイトルを入力できます。

入力時にトラックネームとして入力できる文字の種類についてはMDGシリーズの取扱説明書をお読みください。

8．録音順番の変更

録音の順番を替えるには、MDトラックリストで移動したいトラックを選択し、 、 、 、 をクリックして替えます。

9．録音と録音キャンセル

録音 をクリックすると録音が開始されます。

録音中に再生されるMDレコーダーのボリュームは、[ハードディスクからMDレコーダー]画面内の をクリックするか、スライダーで調整します。　（※録音レベルとは関係ありません。）

［停止］[キャンセル]ボタンをクリックしたときは録音を中止し、メイン画面に戻ります。

１０．録音終了またはキャンセル

録音が終了すると、メイン画面に戻ります。メイン画面に戻ったら、表示内容を更新します。

メイン画面に戻る前にMDを取り出すと、何も表示されません。